

第1回 大阪市立大学都市防災研究(ODRP)シンポジウム 開催案内

主催:大阪市立大学都市防災研究プロジェクト
共催:大阪市立大学プロジェクトマネジメントオフィス

大阪市立大学では、東日本大震災後、全学の研究組織が参画して都市防災研究に取り組んできました。本学における都市防災に関する研究知を集結するとともに、更なるシナジー効果の発現を目的として、大阪市立大学都市防災研究シンポジウムを、下記の要領で開催いたします。なお、都市大阪の防災研究にご興味のある方は、市民の方でもご参加いただけますので、下記メールアドレスにお申込みください。

記

日時

平成26年11月4日(火) 13時00分～17時50分 (休講日)

場所

大阪市立大学文化交流室(学術情報総合センター1階)

プログラム

| | | |
|-------------|-------------------------------|------------------|
| 13:00～13:05 | | シンポジウム実行委員長 重松孝昌 |
| 13:05～14:35 | 第1セッション | |
| 14:40～16:10 | 第2セッション | |
| 16:15～17:45 | 第3セッション | |
| 17:45～17:50 | 閉会挨拶 | 都市防災研究代表者 森 一彦 |
| 18:00～19:30 | 研究交流会(野のはなハウス (学情1階:旧ウイステリア)) | |

参加費

シンポジウム : 無料
研究交流会 : 実費(3,000円程度を予定)

研究交流会への参加は、事前に、下記事務局シンポジウム係までお申し込みくださいますようお願い申し上げます。
当日の参加も歓迎いたします。

問い合わせ先

大阪市立大学都市防災研究プロジェクト(ODRP)
事務局シンポジウム係
odrp.symposium@gmail.com

第1回 大阪市立大学都市防災研究(ODRP)シンポジウム プログラム

| | | |
|-------------|--|---|
| 13:00～13:05 | 開会挨拶 | 重松孝昌(シンポジウム実行委員長) |
| 13:05～14:35 | 第1セッション(司会:三田村宗樹) | |
| 13:05～ | 平成23年台風12号による奈良県南部における大規模斜面崩壊に関わる地形・地質素因 | 三田村 宗樹(理学研究科)・「想定外」豪雨による地盤災害への対応を考える調査研究委員会 |
| 13:20～ | 沖積粘土層の鋭敏性・層厚分布が地震動・液状化に与える影響 ～千葉県浦安市を例にして～ | 大島昭彦(工学研究科)・山田 卓(工学研究科) |
| 13:35～ | 津波浸水被害軽減のための沿岸域海陸統合詳細地形整備の必要性 | 原口 強(理学研究科) |
| 13:50～ | 大阪駅前地下街の津波避難計画に関する一考察 | 谷口与史也(工学研究科)・合田祥子(浅井謙建築研究所)・吉中進(工学研究科)・瀧澤重志(工学研究科) |
| 14:05～ | 地下鉄空間網内の浸水伝播特性に関する基礎的研究 | 森 翔大(工学研究科)・重松孝昌(工学研究科) |
| 14:20～ | 津波発生時における災害時要援護者の避難リスク評価 | 藤岡里香(生活科学研究科)・生田英輔(生活科学研究科) |
| 14:40～16:10 | 第2セッション(司会:渡辺一志) | |
| 14:40～ | 大阪市での震災時のがれき発生量の推定の試み | 水谷聡(工学研究科)・貫上佳則(工学研究科) |
| 14:55～ | 災害リスク評価及び防災意識調査による地域災害脆弱性の地域比較分析 | 生田 英輔(生活科学研究科)・原田 亮(生活科学研究科)・森 一彦(生活科学研究科) |
| 15:10～ | 防災への文化によるアプローチ | 中川 眞(文学研究科)・福島祥行(文学研究科) |
| 15:25～ | オープンデータを用いたリスク学習の教材作成 | 吉田大介(創造都市研究科)・根本達也(理学研究科)・三田村 宗樹(理学研究科)・重松孝昌(工学研究科)・ベンカテッシュ ラガワン(創造都市研究科) |
| 15:40～ | リスク学習による参加者の防災に対する意識の変化について | 佐伯大輔(文学研究科)・三田村 宗樹(理学研究科)・重松孝昌(工学研究科) |
| 15:55～ | ジェンダーの視点に立った防災学習と東日本大震災 ー国際的動向を踏まえてー | 西岡英子(都市研究プラザ) |
| 16:15～17:45 | 第3セッション(司会:生田英輔) | |
| 16:15～ | ZDDを用いた小地域単位の避難所割当案の高速列挙・抽出手法 | 瀧澤重志(工学研究科) |
| 16:30～ | コミュニティ防災拠点「いのちラボ」社会実装に関する研究開発 その1 地域におけるいのちラボ・ドームの企画と実践 | 前田 航志(生活科学研究科)・森 一彦(生活科学研究科) |
| 16:45～ | 震災直後の大阪市内における水需給量の推定 | 貫上佳則(工学研究科)・森 正幸(工学部)・水谷 聡(工学研究科) |
| 17:00～ | 救護所における医療と避難所における公衆衛生問題 | 山本啓雅(医学研究科)・金田和久(医学研究科)・溝端康光(医学研究科) |
| 17:15～ | 津波と避難耐力に関する研究 | 渡辺一志(都市健康・スポーツ研究センター)・生田 英輔(生活科学研究科) |
| 17:30～ | 自治体防災担当者を対象とした浮体式津波避難シェルターに関するアンケート調査 | 重松孝昌(工学研究科)・堀井 淳((株)ニシエフ)・田口政行((株)INVENT) |
| 17:45～17:50 | 閉会挨拶 | 森 一彦(都市防災研究代表) |

※ 講演時間10分、質疑5分の予定です。